

鳥取大学工学部電気情報系学科同窓会

湖鳥会会報

第15号 平成29年3月 鳥取大学 工学部 電気情報系学科 同窓会「湖鳥会」

(〒680-8552 鳥取市湖山町南4丁目101番地, 電話:0857-31-5688, e-mail:mohki@eccs.tottori-u.ac.jp)



(2016年9月17日開催の「小林洋志先生を囲む会」にて)

目次

- 湖鳥会会長
- 学科長挨拶
- 小林洋志先生を囲む会
- 伊藤良生教授 祝還暦パーティ
- 新任教員からヒトコト
吉村 和之 教授
小山田 雄仁 助教
西山 正志 准教授
白岩 史 助教
赤岩 和明 助教
中川 匡夫 教授
- 今年度の学科公開行事
- お知らせ
- 湖鳥会データ

湖鳥会会長挨拶

湖鳥会会長 吉田和行

平成29年9月にて、平成元年発足の湖鳥会は早いもので28周年を迎えます。現業社会でのご心労、近隣コミュニティーでの社会貢献、または新しい人生を見つけ出されている、全国いや全世界各地でご活躍の湖鳥会会員の皆さま如何お過ごしでしょうか？何はともあれ、引き続き活気に満ち、豊かで楽しくお過ごしのことと存じます。

さて、一昨年、平成27年（2015年）4月に、



鳥取大学工学部が創立 50 周年を迎え、工学部 9 学科が 4 学科に改組されました。これを機に湖鳥会（電気電子工学科同窓会）と湖情会（知能情報工学科同窓会）が合併し、新生「湖鳥会」が発足しました。湖鳥会、湖情会、会員の皆さま、すでにご存じとは思いますが、沿革概要を以下の通りまとめてみました。

- 1965 年(昭和 40 年)4 月：電気工学科設置（鳥取大学に工学部創設）
- 1968 年(昭和 43 年)4 月：電子工学科設置
- 1989 年(平成 元年)4 月：電気工学科と電子工学科が電気電子工学科へ改組。工学部 9 学科を 7 学科（機械・知能情報・電気電子・物質・生物応用・土木・社会開発システム）へ改組
- 1989 年(平成 元年)9 月：湖鳥会（電気電子工学科同窓会）発足
- 1993 年(平成 5 年)3 月：湖情会（知能情報工学科同窓会）発足
- 2015 年(平成 27 年)4 月：工学部創立 50 周年。電気電子工学科と知能情報学科が統合され電気情報系学科へ改組、工学部 8 学科（応用数理工学科含む）が 4 学科（機械物理系・電気情報系・科学バイオ系・社会システム土木系）へ改組
- 2015 年(平成 27 年 4 月)：湖鳥会と湖情会が合併、会の名称は「湖鳥会」。

2015 年、工学部創立 50 周年の改組により、新設されました。電気情報系学科では、私たちの想像を大きく超えた多くのカリキュラムで、幅広い専門能力を具えた人材を育てるため、3 つの教育プログラムが設けられています。学生各々が将来を見据えた上での、選択による履修が進められているとのこと。これら 3 つのプログラムは、電気電子工学プログラム、コンピューターサイエンスプログラム、そして電子情報制御システムプログラムです。

先日開催の湖鳥会理事会では、こうした多岐にわたるカリキュラムで頑張る電気情報系学科在学生の国際学会での研究発表等の活躍に、出来るだけ援助してゆこうと決議されました。

時を重ね時は移っています。先の湖鳥会機関紙発行時の日本は、TPP 結成への協議がハワイ会議でスタート、議論騒然大騒ぎの頃でした。今は、風前の灯かの TPP を始め、安全保障にま

で及ぶ想定外のトランプ旋風が如何に吹くのか大いに気になる 2017 年の年明けです。英国の EU 離脱など、昨今取沙汰されている各国での極端なナショナリズム、ポピュリズム志向が、今後世界をどう動かすのか懸念される新しい年がやって来ました。

新春のトランプ政権発足で 2017 年がどうなるのか。いや如何にせよ、湖鳥会会員の皆さまの益々のご健勝と、ご多幸の年とならん事をお祈り申し上げます。

学科長挨拶

鳥取大学大学院工学研究科
情報エレクトロニクス専攻
知能情報工学コース コース長

鳥取大学工学部
知能情報工学科、電気情報系学科 学科長
菅原 一孔 教授

まず、湖鳥会の会員の皆様には大学の様々な活動に関し、日頃より多大なるご理解ならびにご支援をいただいておりますこと、心よりお礼申し上げます。また、皆様方がますますご活躍されておられますこと、見聞きするたび大変喜しく思っております。



さて、冒頭の職名をあえて詳しく書かせていただきましたが、それにも表れています通り現在本学は変革の真っ只中と云ってよい状況にあります。すでにご案内しております学部の改組も進み、以前の電気電子工学科と知能情報工学科を 1 つの学科として誕生した、電気情報系学科も平成 29 年度には 3 年生まで学年が進み、旧学科と云ってよい 2 つの学科に所属するのは 4 年生以上となり、旧学科として実施する卒業研究は最後の年度を迎えようとしております。さらに数年前に改組を行った大学院でも更なる改組を進め、従来の工学研究科、農学研究科さらには地域学研究科を 1 つに統合して単一の大学院、“持続性社会創生科学研

究科”として平成29年4月より発足いたします。そして、これまでの工学研究科、情報エレクトロニクス専攻は、それぞれ工学専攻、情報エレクトロニクスコースとして組織されることとなります。

このように学科名、専攻名が変わってしまうことで、卒業、修了された学科や専攻の名称がなくなってしまう寂しく思われる同窓生の方もおられるとは思いますが、そこは前向きにとらえていただき、より社会の要請にこたえられる教育・研究活動をするための組織改革とご理解いただけましたら幸いです。

学部卒業生の進路も今年とはほぼ従来通りで、卒業生の半数を超える学生が大学院へ進学します。また、大学院、学部を併せた就職希望者はほぼ全員が無事就職先を決定し、4月からは皆様方の一員として社会で活躍してくれることと期待しております。

最近の教員の異動としては電気電子工学科に中川教授、小山田、赤岩、白岩助教が、また、知能情報工学科には吉村教授、西山准教授が赴任しました。これらの方々には当学科の教育研究理念を踏まえて本学の教員として頑張ってくださいと同時に、新しい研究分野の風を当学科に吹き込んでいただけるものと期待しております。

上で述べました通り、学科名、専攻名は変わりますが、教職員一同、在校生諸君と共に学科・学部の発展のために努めてゆく所存であります。今後とも卒業生の皆様方からご支援をいただきますようお願い申し上げます。

小林洋志先生を囲む会

小林洋志名誉教授(元工学部長・電気電子工学教授、平成15年3月定年ご退職)におかれまし



ては、平成28年春の叙勲(4月29日付)において教育研究功勞により瑞宝中綬章を受章されました。これをお祝いして、研究室卒業生の出口浩司さん、皆本真樹さんを発起人代表とする「小林洋志先生を囲む会」が平成28年9月17日(土)に開催されました。

小林先生は現在、東京にご在住ということもあり、会場は品川駅前のザ・プリンスさくらタワー東京となりました。当日は、研究室卒業生の皆さんを中心に、小林先生ご夫妻を含め48名のご参加があり、盛会となりました。会の後半には、小林先生から「最終講義」と題してご挨拶を頂きました。スライドを使つての往年の名調子をご健在で、参加者はみな学生に戻ったように聞き入っていました。それぞれ話は尽きませんでした。あつという間に時間は過ぎ、万歳三唱、記念撮影の後、またの機会の再会を約束し、小林先生ご夫妻をお見送りして終了となりました。

伊藤良生教授 祝還暦パーティ

伊藤良生教授が平成27年8月に還暦を迎えられました。これをお祝いして、平成27年8月29日(土)に「伊藤良生先生の還暦を祝う会」が開催されました。副井裕先生、立木純夫さん、情報通信工学研究室卒業生を中心に、伊藤先生を含め22名のご参加があり、楽しい会となりました。

伊藤良生先生の還暦を祝う会



新任教員からヒトコト

湖鳥会の皆様、はじめまして。平成28年7月1日に数理情報科学研究室(旧・知識工学A研究室)に着任致しました、吉村和之と申します。出身は福井県福井市です。鳥取は、これまで縁のない土地でしたが、景色や気候が何処となく福井に似て



数理情報科学
吉村 和之 教授

おり少し懐かしいような感じを覚えます。鳥取での生活にも慣れ、自然豊かな環境で快適に過ごしております。また、スキーを趣味としておりますので、冬には鳥取周辺の山でスキーを楽しみ、鳥取での生活をさらに満喫したいと思っております。

前職は NTT コミュニケーション科学基礎研究所で研究員をしておりました。専門は非線形科学で、非線形ダイナミクスの数理モデルを用いた解析と、その情報通信技術への応用に関する研究を行ってきました。鳥取大学においても、これらの研究を発展させたいと考えております。また、私の専門分野は基礎的な学問分野である物理・数学と関わりが深く、研究指導においては、学生の基礎的学力の向上に努めるよう心がけております。教員となって日が浅く、至らない点が多々あるかと思えます。湖鳥会の皆様には、ご指導賜れば幸いに存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。



システムデザイン
小山田 雄仁 助教

湖鳥会の皆様、はじめまして。2015年4月に電気情報系学科(旧電気電子工学科)に助教として着任した小山田です。

専門は Computer Vision の基礎・応用を扱っており、映像解析や拡張現実による映像提示に関する研究に従事していました。着任してから2年が経とうとし

ていますが、Computer Vision の医療・教育への応用や機械学習による問題解決を主に研究活動を行っています。研究室に所属している学生は、私の専門と同様 Computer Vision の基礎・応用研究を行っています。スマートフォンやタブレット PC 等のおかげで身近になった画像・映像処理に関する研究を通して、「論理的に物事を考え、他者との意思疎通ができる」スキルを身につけるよう、学生と共に日々学び成長をしています。

担当科目は学部 1,3,4 年生の実験やセミナー形式の輪読会・発表会等です。研究室での指導と同様、「論理的に考え、他者に伝える能力を伸ばす」ことを目的とした指導を心がけています。

学生の指導を行っている私自身、研究者として、また教育者として学ぶべきことがまだまだ多くあると感じております。今後も学生と共に学び成長を続けていくよう精進してまいりますので、何卒よろしくお願いいたします。



湖鳥会会員の皆様、はじめまして。2015年4月から知識工学C研究室に着任致しました西山正志と申します。以前の職場は株式会社東芝の研究開発センターであり、画像認識・拡張現実感の研究開発および事業化に従事しておりました。現在は、岩井儀雄教授のご指導の下、



知能情報工学
西山 正志 准教授

研究室に配属された学生と共に画像認識・拡張現実感・ヒューマンインタラクションの研究活動に取り組んでおります。また、パターン認識特論などの講義や知能情報工学実験などの演習・実験を通じて情報技術の教育活動を行っています。学ぶことの楽しさや面白さを、さらには学んだことが実社会でも役立つことを何とか学生に伝えることができるよう日々励んでおります。

鳥取での生活は初めてですが、美味しい食材が良心的な価格で毎日豊富に入手できることをとても嬉しく感じております。色とりどりの旬な海の幸と山の幸が食卓でならぶ様子を見てると四季の有難さが分ります。今後とも湖鳥会の皆様にはお世話になることが多いかと思いますが、何卒ご指導の程をよろしくお願いいたします。



湖鳥会の皆様、はじめまして。平成 26 年 9 月 1 日より、旧・信号処理工学研究室(現・ヒューマン情報工学研究室)に着任致しました、白岩史と申します。専門は、視覚情報処理で、主にヒトの興行き知覚や注意に関する研究に取り組んでいます。旧・電気電子工学科の学生から見ると、少々不思議な分野だと感じられるかもしれませんが、出



ヒューマン情報工学
白岩 史 助教

身地は大阪府大阪市で、以前は、兵庫県三田市にある関西学院大学で博士研究員をしていました。着任した年に、数度、雪に見舞われましたが、その後は、穏やかな気候が続き、まだ、鳥取の冬の厳しさを体験したとは言い難いと思っています。

着任早々から実験科目を、また、平成 27 年度からは、学生のチューターとしても指導を行っております。実験科目に関して、私は学生時代に、このようなローテーション制の実験を体験していなかったため、当初は右も左も分からないと、慌てふためいてもおりましたが、学生には、電気電子工学や情報工学等に関する知識をすると共に、充実した学生生活を送れるような指導をしようと心掛けています。



光半導体工学
赤岩 和明 助教

まだまだ学ぶべきことは非常に多くありますが、教育・研究活動に貢献できるよう、一所懸命努めますので、どうぞ宜しくお願い致します。

湖鳥会のみなさま、はじめまして。2016 年 3 月付けで情報エレクトロニクス専攻光半導体研究室の助教に着任いたしました赤岩和明と申します。以前は京都大学の博士後期課程に在籍しておりました。2016 年 3 月に博士号(工学)を取ることができ、こちらの教職員として採用される事となりました。実家は兵庫県にあり、関西圏でこれまで過ごしてきたのですが、生まれは母の故郷である鳥取県米子市のも何かの縁ではないかと思っています。研究は主に酸化ガリウムという新しい半導体の材料研究を行っており、高効率な電力変換を可能とするパワーデバイスへの応用を目指し研究を行っております。まだまだ未熟な身ではありますが、教育にまた研究に励み、鳥取大学の教職員として

頑張りたいと思っておりますので、皆様にはご指導のほどをよろしく願いいたします。

湖鳥会の皆様、はじめまして。平成 28 年 11 月に着任いたしました中川匡夫と申します。出身は兵庫県神戸市です。大阪大学大学院を修了後、横須賀にある NTT 研究所にて高周波回路設計に関する研究や、無線通信および光通信の信号処理に関する研究に携わっておりました。鳥取大学では、ウェアラブル機器の無線伝送や高精度信号処理など、医工連携等の社会貢献を目指した研究を進めていきたいと考えています。ヒトの情報を処理し、ヒトが使いやすいネットワーク・装置を実現することを目的として、研究室名はヒューマン情報工学研究室(旧・信号処理工学研究室)といたしました。4 月以降に担当する科目は、通信機器工学特論や電子回路応用などであり、学生がハードウェア設計に対する実践的な知識を習得できるよう努めてまいります。



鳥取に住むのは初めてですが、自然豊かな一方、量販店や深夜営業のスーパーが近いところに多くあり、住みやすいところだと感じています。湖鳥会の皆様には何かとお世話になることと思いますが、どうぞよろしくお願い致します。

鳥取に住むのは初めてですが、自然豊かな一方、量販店や深夜営業のスーパーが近いところに多くあり、住みやすいところだと感じています。湖鳥会の皆様には何かとお世話になることと思いますが、どうぞよろしくお願い致します。

鳥取に住むのは初めてですが、自然豊かな一方、量販店や深夜営業のスーパーが近いところに多くあり、住みやすいところだと感じています。湖鳥会の皆様には何かとお世話になることと思いますが、どうぞよろしくお願い致します。



ヒューマン情報工学
中川 匡夫 教授

電気情報系学科 公開行事 (平成 28 年度)

- ・オープンキャンパス(7/23)
 - ・学科紹介
 - ・研究室紹介(情報通信工学研究室, 電磁エネルギー応用工学研究室, 光半導体工学研究室)
 - ・体験講習(スマートフォンアプリプログラミング)
- ・ふれてみる不思議な電気の世界 2016(8/10)
 - ・参加:小学生 35 名
 - ・午前(見学):高電圧実験, 光通信実験, 家電製品解体実験
 - ・午後(工作):ブラシ式ロボット工作, 炭電池工

作, 直流モータ工作

- ・保護者説明会(10/8)
 - ・学科説明会
 - ・個人面談
- ・研究室公開(10/8)
 - ・大学祭に合わせて実施. 研究室の学部生や大学院生が自分の研究を説明.
- ・スマホアプリを作ろうの会(10/9)
 - ・参加者:中学生, 高校生, 一般の約 30 名
 - ・コンピュータ業界の動向説明
 - ・Android アプリを作るツールを用いてスマホアプリ作りに挑戦
- ・鳥取県オープンデータを用いたアプリ開発講座(12/3, 4)
 - ・中学生以上対象
 - ・鳥取県が公開するオープンデータを活用するアプリ作成
- ・電気電子工学科卒業研究発表会(2/18)
 - ・未来はここから生まれる! 電気電子の世界2017
 - ・参加者:電気電子工学科全教員, 電気電子工学講座研究室配属学生, 保護者, 一般
 - ・場所:鳥取県立生涯学習センター(ホール, 第二会議室)
 - ・午前:ショートプレゼンテーション
 - ・午後:ポスタープレゼンテーション

お知らせ

今年度は年が明けてから, 3 度の大雪に見舞われ, 鳥取県内の一部では風雪の中, 身動きが取れなくなってしまった車列が発生したことは, 全国版のニュースや新聞等で扱われましたので, 存知の方も多いかと存じます. そんな中でも鳥取大学の学生諸君は元気に大学に通学し, 無事に今年度を終えることが出来ましたので, 同窓生の皆様, どうかご安心ください.

さて, 今年度をもちましてご退職される教職員のご案内を致します. まず, 北川雅彦准教授が今年度をもちまして定年ご退職となります. 北川先生は, 小林洋志先生から始まる固体電子工学研究室を長年にわたり守ってこられ, 半導体や太陽電池の分野で多くの功績を残されました. 一方, 電子物理工学研究室の木下健太郎准教授は, 今年 3 月末をもちまして鳥取大学を退職され, 4 月より東京理科大学理学部応用物理学科に移られます. 鳥取大学では一貫して高集

積可能なメモリの研究に従事され, 多くの若手研究者・技術者を育成されてこられました.

最後に, 岸田悟教授と北村章教授が来年度末をもちまして定年ご退職の予定です. 岸田先生は, 表面解析の分野で基礎的研究を繰り広げられ, 太陽電池セルなどの応用研究も手掛けられ, さらにはニューラルネットワークを中心とする情報処理の分野の研究も手がけられてこられました. 一方, 北村先生は, 制御工学を基礎とした知能制御工学や知能ロボット工作, さらには生体医用工学の分野に挑戦されてこられました. 両先生の定年ご退職に関連したイベントの案内がお届けの際には, 宜しくお願い申し上げます.

湖鳥会データ

●在生人数

	学科名	在生人数
工学部	電気電子工学科	161
	知能情報工学科	143
	電気方形学科	259
工学研究科(情報エレクトロニクス専攻)	博士前期課程	109
	博士後期課程	17

●卒業生数

		卒業生数
工学部	旧電気工学科	934
	旧電子工学科	779
	電気電子工学科	1789
	知能情報工学科	1306
合計		4808
博士前期課程	旧電気工学専攻	131
	旧電子工学専攻	173
	旧電気電子工学専攻	501
	旧知能情報工学専攻	332
	情報エレクトロニクス専攻	437
合計		1574
博士後期課程	情報生産工学専攻電子情報システム講座	56
	情報エレクトロニクス専攻	22
	合計	